

---

## 日本地域福祉学会 関東ブロック研究大会

### 都市計画×地域福祉における仕組みと人材づくり

---

#### 【大会趣旨】

日本は、今後の10年、歴史上また世界でも経験をしたことのない人口減少・超高齢社会を迎えます。それに伴い、地方だけではなく大都市においても医療や介護領域などにおちても深刻な問題が発生することが予測されています。

今回、このような問題意識のもと地域福祉学会第30回記念大会(2016年6月11・12日：日本社会事業大学)では、「コミュニティの持続可能性の危機と地域福祉のイノベーションを探る」と題して開催の準備が進められています。

上述の問題認識は、社会福祉学はもとより、社会学や政治学、経済学、都市計画学等、様々な学問領域の中でもテーマ化され、コミュニティの持続可能性とそれを可能にするイノベーションについて研究が進められています。特に都市計画の分野では、コミュニティデザイン等、都市インフラのハード面のデザインのみならず、地域で生活する人々のつながりの再構築といったソフト面のデザインも射程に入れた実践が進められ、大きな成果を上げています。

本年度の関東ブロック研究大会では、地域福祉学会第30回記念大会の前哨戦として、都市計画学の研究者・実践家をお招きして、我われ地域福祉に関わる者は何を学び、どのように協働して来たるべき新しいコミュニティの創出に向けての取り組みを進めていく必要があるのか、「都市計画×地域福祉における仕組みと人材づくり」をテーマとしました。

地域福祉と都市計画は、新しいコミュニティの創出という点では共通性を有するものの、その問題のとらえ方や範囲(エリア)、仕組みやアプローチ、人材づくりや専門職のあり方など、異なる点も少なくありません。地域福祉「×」都市計画の化学反応によって、次世代の新しい地域福祉のあり方を検討し、今後の取り組みのチャートを生み出す手がかりを得られることを願っています。

- 《日時》 2016年2月20日(土) 午後1時～午後4時30分
- 《会場》 東洋大学白山キャンパス 6号館3階 6307教室
- 《定員》 60名
- 《参加費》 無料(事前申し込みは必要ありません)
- 《主催》 日本地域福祉学会関東ブロック実行委員会  
2030年の地域福祉を考える研究会

- 《お問い合わせ》 武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科 担当：熊田  
Mail：hikumada@musashino-u.ac.jp FAX：042-468-8336

【プログラム】

時間	内容
12 : 30	受付開始
13 : 00	開会（挨拶 熊田博喜【武蔵野大学】）
13 : 10	基調講演「共創のまちづくり」（仮題） 講師 小泉秀樹先生 東京大学大学院 都市工学専攻 都市計画研究室
14 : 30	休憩
14 : 40	シンポジウム「都市計画×地域福祉における仕組みと人材づくり」 シンポジスト 中島修先生【文京学院大学】 浦田愛氏【文京区社会福祉協議会】 浅海義治氏【世田谷まちづくりセンター】 コメンテーター 小泉秀樹先生【東京大学大学院】 コーディネーター 渡辺裕一先生【武蔵野大学】  * シンポジストから各 20 分の話題提供 * その後、ディスカッションを 60 分予定
16 : 30	閉会（挨拶 山本美香【東洋大学】）

【交通案内】



都営地下鉄三田線：白山駅・千石駅 東京メトロ南北線：本駒込駅 各駅から徒歩 10 分